

漁海況月報

平成28年12月2日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況

(1) 現況

○ 黒潮流路

11月25日の人工衛星画像によると、黒潮は、潮岬で接岸したあと東進し、八丈島の南を通過後、野島崎南東沖の冷水域を迂回しながら北上しています(図1)。

○ 渥美外海の状況

志摩半島沿岸から渥美外海へ暖水が弱く流入しています。沿岸域の表層は20℃以下の冷水域に覆われていますが、沖合域(200m)の水温はきわめて高めとなっています(図2)。

(2) 予想

潮岬以西には小蛇行が見られませんが、黒潮の流路や水温に影響する黒潮の流量は低い水準からやや増加傾向となっていますが、沖合域の底層水温は高く、渥美外海へは暖水が波及しやすい状況と考えられます。

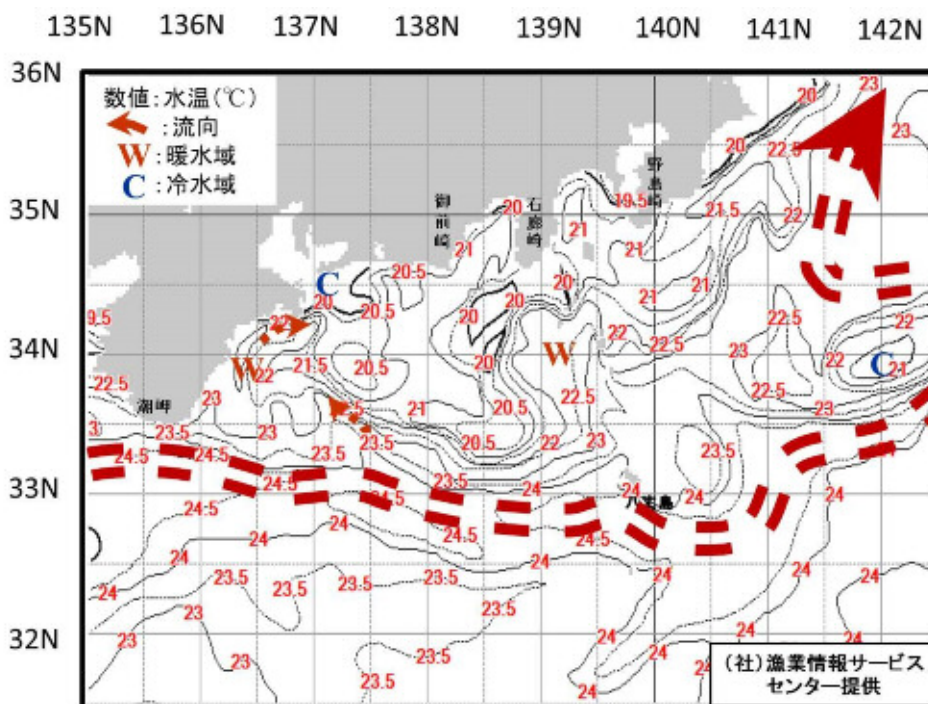


図1 海況の現況[2016年11月25日]

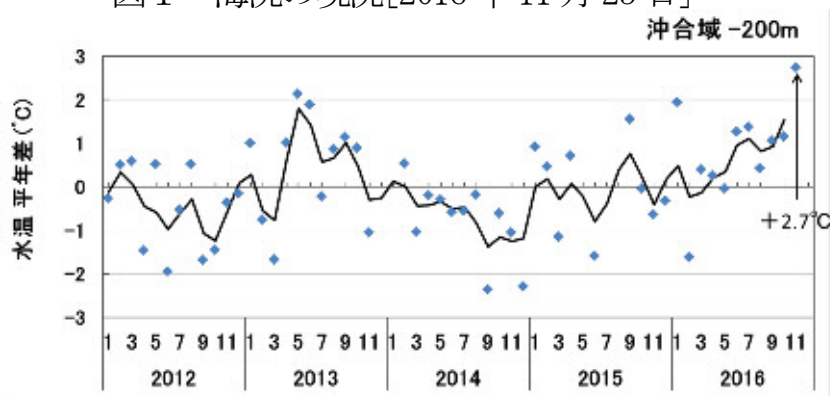


図2 沖合域の水温(A11点、A19点の200mの平均)

2 イワシ類

(1) シラス

10月のCPUE（1日1ヶ統当たりの漁獲量）は中旬以降70カゴ程度に上昇し（図3）、漁獲量は約1,683トンと大きく回復しました（表3）。

11月上旬のCPUEは一時的に100カゴ以上まで上昇し、その後は60カゴ程度で推移しており、11月の漁獲量も約1,544トンで、昨年には届きませんが、平年を大きく上回っています。

11月下旬の漁場は湾口部を主体に外海でも漁場が形成されました。

11月17日の魚体測定結果をみると、外海では比較的大型のシラスが漁獲されており、内湾では幅広い体長範囲の魚が漁獲されていました。

11月24,25日のボンゴネット調査結果をみると、先月に引き続きふ化直後と思われる体長3mm前後を含めて幅広い体長範囲の個体が採集されています（図5）。

先月に引き続き、内湾での生残率は良好であったと考えられること、沖合域の水温が高く、暖水の影響を受けやすいことから、例年、水温の低下に伴って終漁となるシラス漁ですが、昨年同様、もうしばらく漁獲が継続すると考えられます。

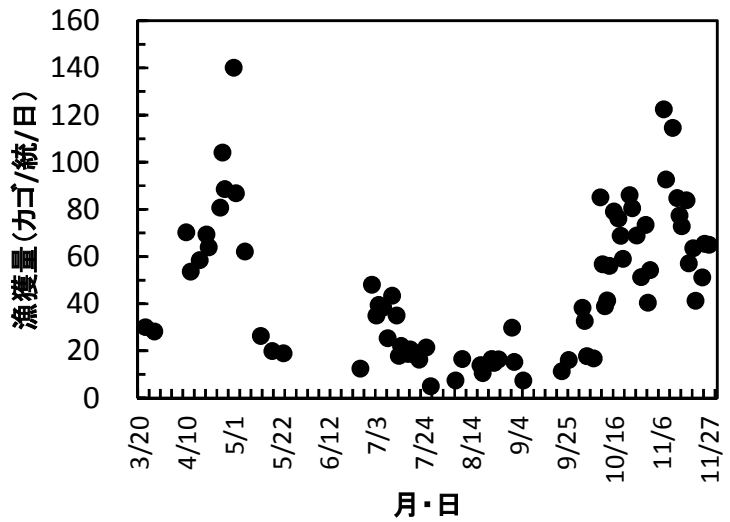


図3 シラスのCPUE (カゴ/統/日)

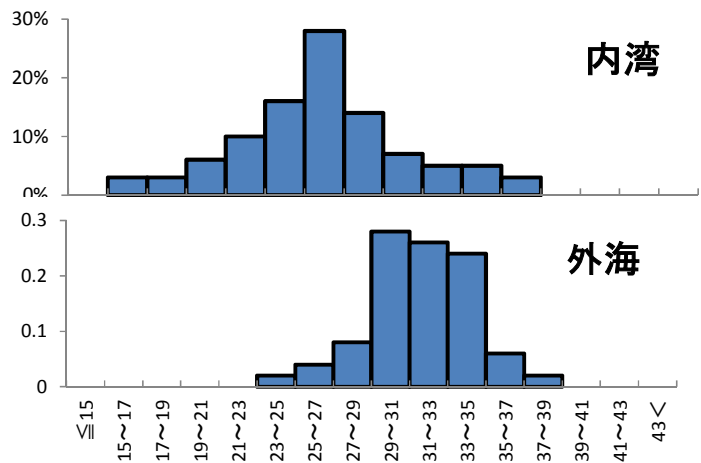


図4 11月17日の魚体測定結果

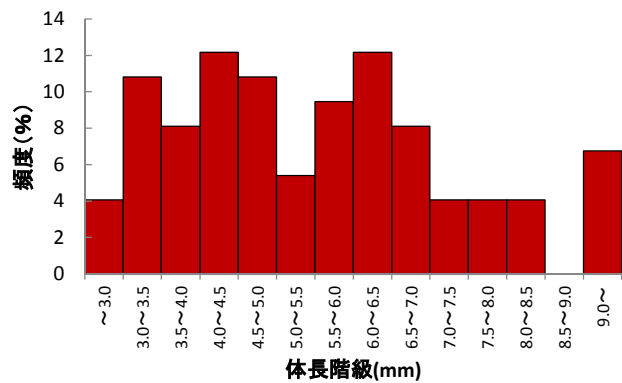
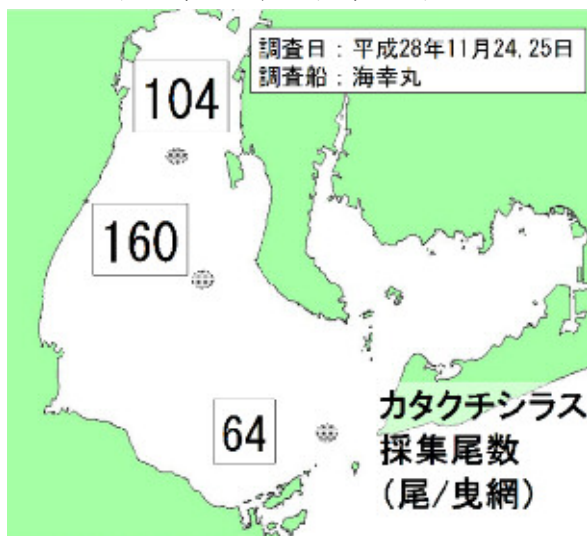


図5 内湾ボンゴネット調査結果 (カタクチイワシ採集数と体長組成)

(2) マイワシ (成魚・未成魚)

10月のCPUE (1日1ヶ統当たりの漁獲量) は10から20トンで推移しており(図6)、漁獲量は推計で約3,803トンでした(表5)。操業は、空港西方を中心に湾口部や三河湾の佐久島東、田原沖でも行われていました。

10月下旬以降の操業隻数は減少傾向ですが、11月に入ってもCPUEは10トン前後を維持しており、漁獲量は25日現在で推計約859トンと平年を上回っています(表5)。

11月の体長測定結果をみると、漁獲される魚体サイズは10月より大型化しました(図6)。

CPUEの水準は維持されていますが、新たな小型群の加入はなく、例年、水温の低下とともに魚群は外海へ移動することから、漁獲量は徐々に低下していくと考えられます。

(3) カタクチイワシ (成魚・未成魚)

10月の漁獲量は混獲物に占める割合がごく僅かであったことから、推計値は約0トン(表4)となっています。

11月も引き続きCPUEは低い状態で推移しています。

11月の体長測定結果をみると、65から70mm前後の夏生まれが主体となっており、90mm以上の大型は減少傾向となっています(図9)。

現在、漁獲量はやや増加していますが、主群はすでに夏生まれとなっていることから、今後もまとまった漁獲量にはならないと考えられます。

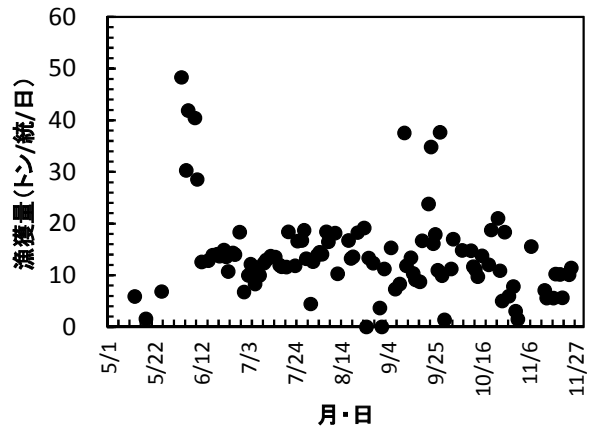


図6 マイワシのCPUE (トン/統/日)

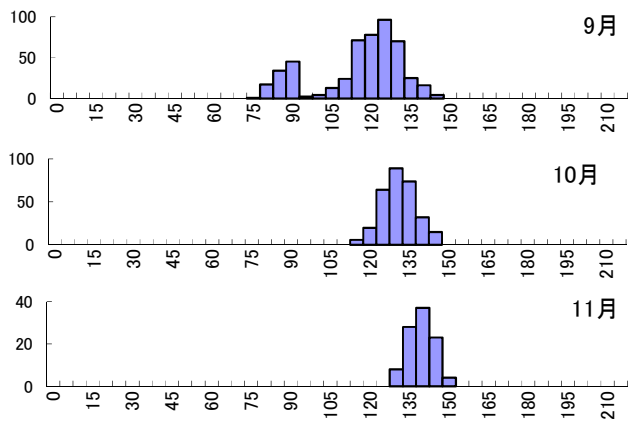


図7 マイワシの体長組成(mm)

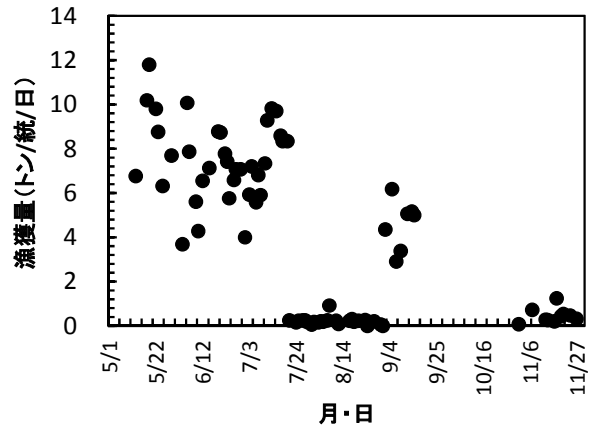


図8 カタクチイワシのCPUE (トン/統/日)

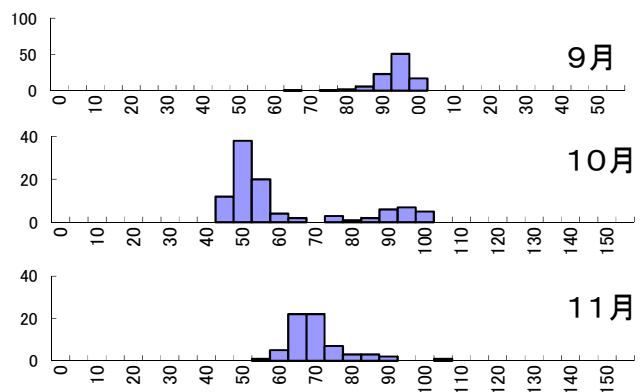


図9 カタクチイワシの体長組成(mm)

表1 渥美外海の卵採集数(15点合計)

(単位:個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2011	0	0	32	1,740	1,003	394	1,104	174	欠測	1	0	0	4,448
2012	0	0	欠測	135	1,399	362	105	221	45	2	3	0	2,272
2013	0	0	320	102	340	388	159	20	4	0	0	0	1,333
2014	0	0	149	1,071	329	20	37	114	249	59	4	0	2,032
2015	0	2	703	15	1	112	126	12	5	148	0	5	1,129
2016	0	0	0	50	27	24	93	10	2	1	0		207
平均(過去5年)	0	0	243	613	606	256	304	108	76	42	1	1	2,187

表2 伊勢湾の卵採集数(15点合計)

(単位:個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2011	N	N	N	7	1,591	2,769	3,565	186	428	14	35	N	8,595
2012	N	N	N	4	512	1,094	1,945	1,424	415	3	15	N	5,412
2013	N	N	N	0	30	1,237	4,764	1,366	876	9	42	N	8,324
2014	N	N	N	10	502	221	733	164	88	315	291	N	2,324
2015	N	N	N	1	191	160	30	1,291	61	132	768	N	2,634
2016	N	N	N	0	1,329	1,236	748	1,508	132	248			5,201
平均(過去5年)	N	N	N	4	565	1,096	2,207	886	374	95	230	N	5,458

表3 愛知県シラス類漁獲量

(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2011	1	0	0	169	583	1,168	1,219	517	677	547	478	279	5,637
2012	9	0	0	110	444	832	1,383	1,167	679	1,142	496	181	6,443
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	127	5,363
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1,400	592	236	7,758
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	166	164	1,002	1,886	938	9,903
2016	11	0	94	1,210	691	33	628	136	132	1,683	1,544		6,163
10年平均	2	0	7	419	1,585	1,061	610	562	542	737	555	224	6,306

* 11月は、25日まで

表4 愛知県カタクチイワシ漁獲量

(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2011	37	92	116	561	768	1,945	3,610	4,935	572	159	294	401	13,491
2012	46	0	0	260	1,471	1,792	1,824	3,704	2,197	483	851	354	12,983
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	703	21,657
2015	231	226	0	131	0	286	4,332	2,952	3,191	800	1,262	361	13,772
2016	85	0	14	0	851	2,128	1,703	91	789	0	291		5,953
10年平均	84	48	12	226	736	1,826	4,107	4,147	2,596	1,505	1,330	739	17,357

* 2016.6以降は水試の推計値

* 2016.11は、25日まで

表5 愛知県マイワシ漁獲量

(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2011	0	0	1	0	2	29	361	1,223	1,091	264	68	4	3,044
2012	0	0	0	0	0	72	49	499	214	52	0	0	886
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	180	4,474
2015	76	78	0	0	0	4	1,010	2,100	3,184	2,684	1,413	574	11,123
2016	74	0	0	0	75	4,736	4,535	5,812	4,419	3,803	859		24,314
10年平均	8	9	0	0	1	29	255	757	736	432	212	81	2,519

* 2016.6以降は水試の推計値

* 2016.11は、25日まで

3 トラフグ

今年度のトラフグはえ縄漁は10月2日に初出漁となり、10月中に4日出漁しました。10月の漁獲量は10.8t（前年比48%、平年比55%）と低調でした（表6）。

11月29日現在の累積漁獲量は16.9tとなっています。

表6 10月の操業実績

年度	初出漁日 (月日)	10月合計				1日1隻あたり	
		出漁日数 (日)	漁獲量 (kg)	尾数 (尾)	隻数 (隻)	漁獲量 (kg)	尾数 (尾)
H15	10月5日	6	24,439	22,082	493	50	45
H16	10月3日	4	7,273	5,547	323	23	17
H17	10月2日	6	7,838	7,241	419	19	17
H18	10月1日	5	20,293	21,734	385	53	56
H19	10月2日	6	45,796	53,661	525	87	102
H20	10月3日	5	31,328	31,866	402	78	79
H21	10月1日	4	41,223	49,012	361	114	136
H22	10月6日	2	11,330	9,481	162	70	59
H23	10月10日	4	9,602	7,990	285	34	28
H24	10月3日	5	9,517	8,520	299	32	28
H25	10月14日	3	5,109	4,348	182	28	24
H26	10月1日	4	19,267	21,250	252	76	84
H27	10月5日	3	22,541	25,006	202	112	124
H28	10月2日	4	10,811	9,144	222	49	41
前年比	3日早い	133%	48%	37%	110%	44%	33%
※平年比	2日早い	91%	55%	44%	67%	82%	67%

※平年はH15～27の平均値

今年度のトラフグの特徴として、大型魚が多い点が挙げられます。10月に片名市場で水揚げされたフグの全長組成を昨年と比較すると、昨年は36cmにピークがあったのに対して、今年は39cmと大きく、45cm前後のフグの出現割合も昨年に比べて高くなりました（図10）。

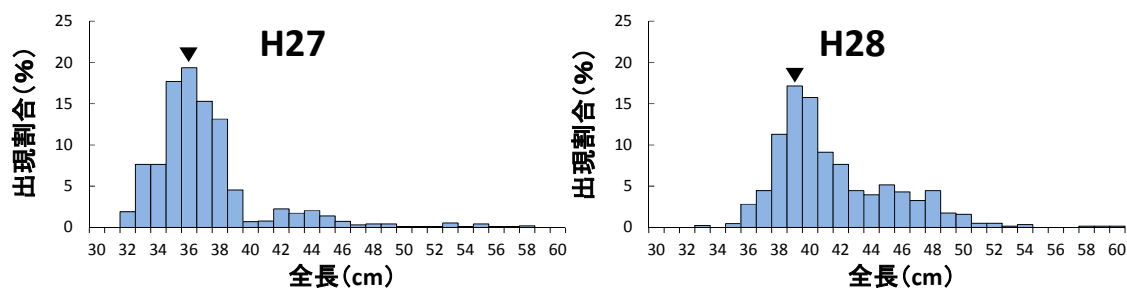


図10 10月に片名市場で水揚げされたトラフグの全長組成

今年度、全長45cm前後の2・3歳魚の出現割合が高いのは、1歳魚の資源の水準が低いという要因もありますが、昨年度の1・2歳魚を一定数獲り残すことができた効果も大きいと考えられます。単価の安い1歳魚を獲り残すことで、翌年以降の水揚げ金額が増大し、経営の安定が期待されますので、今後も長期的な視点に立った操業が望まれます。

4 イカナゴ

11月18日に外海の出山海域において、イカナゴ夏眠魚の調査（空釣り）を実施しました。

調査海域の底層水温は18.5℃で前年同時期（11月20日）よりも0.6℃低下していました。

採集尾数の平均は5尾/kmで、採集尾数の合計は10尾。体長範囲は89から102mmでした。採集されたイカナゴは全て0歳魚と考えられます。

肥満度の平均は3.2で、前回調査時（10月7日）と同程度でした。

今回のサンプルで雌雄の判別が可能な状態だったのは2尾でした。

気象庁の1ヵ月予報では、12月は極端な高温傾向とはならない予報で、水温の低下とともに成熟は順調に進むと考えられます。

表7 イカナゴ夏眠魚調査結果

	イカナゴ夏眠魚 採集量（尾/km）								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2000	9	13	60		76	46	183		12
2006				2,535					
2007		1,128	2,180		1,682		1,039		544
2008	77	45	49			121		68	30
2009		435	438				740		501
2010		792	3,306				1,333		1,589
2011		964	2,910				425		518
2012	230	378		1,721			1,869		1,324
2013	462	1,268	2,597						1,690
2014	146	1,670	(659)* ¹	110			49		116
2015	119* ²	61	132		47	1	4	7	5
2016	0.5	86*³	41	51			3	5	

* 1 2014年6月は三重水研の調査結果

* 2 2015年4月の調査日は、5月1日

* 3 2016年5月9日の採集では28尾、5月24日の採集では86尾。